



平成27年6月号

杉並区立井荻小学校

おぎ  
だより

平成27年5月29日発行 No.563

## 「していいこと・してはいけないこと」

校長 梅津 典子

数年前ある新聞にこんな記事が載っていました。「茨城県のある町で休耕田にひまわりを咲かせたことを新聞で紹介したところ、翌日から観光客が現地に殺到した。特別に管理人などを置いていないこともあって、ひまわり畑の中に入ってカメラやビデオを構えるだけでなく、花から30～50センチ下のところで茎を折り、そのまま持ち帰ってしまう人が相次いだ。1万本以上咲いていたというが残ったのはほんのわずか。つぼみまで持ち帰ってしまうケースもあり、黄一色だった畑は、主役を失った葉の緑色だけが目立つ無残な姿に変わり果てた。観光客のモラルの低下が招いた受難に大輪の花を育てた生産者もがっくりと肩を落としている……」

このニュースを読んで、大人の身勝手な行為を残念に思うとともに、今の時代を象徴する出来事でもあると思いました。子ども社会で、自分勝手な言動が増えてきているのも社会の風潮、大人の行動が原因の一つにあるのかもしれませんが。

「きれいな花が咲いている。持ち帰りたい。しかし、この花は誰かが育てている。でも、ほしいなあ。でも……。」というような“やりとり”を心の中で積み上げていくことで私たちの心は自分の気持ちをコントロールする力を付けることができます。例えば、宿題するのは面倒、でも、後回しにすると後が大変。だからやってしまおう。もっとゲームをしたい。でも、明日の用意をしていな

い。続けると眠るのも遅くなってしまう……。

このような心の葛藤を子どもがどう体験してきたかが、とても重要であると私は考えています。子どもに心の葛藤を積み重ねさせ、豊かな体験とさせるために、次のようなことが配慮できるといいのではないのでしょうか。

- ① 何か夢中になれることに集中させ、やってみたいことに多くの時間をかけさせることで失敗による戸惑いや成功に至るまでの感情の起伏を実感する経験をたくさんさせる。
- ② 我慢をしてストップがかけられた時を大いにほめ、我慢できずわがままになってしまった時はその場で子どもに考えさせ、その場で学ぶ訓練をする。
- ③ 素晴らしい生き方のモデルがもてるように、人との関わりを多くさせる。

物事を判断しなければならない場面に出会った時に、子どもは、「していいこと」と「してはいけないこと」を心の中で綱引きします。時には自分でも甘くなり失敗もするでしょう。また、きちんとブレーキをかけられれば、そんな自分に誇りを感じるはずです。こうしたさまざまな葛藤体験をよみがえらせることで自分をコントロールできる、心にブレーキがかけられる、自立した人間へ成長してほしいと願っています。

# 「学び合い」って何？

研究主任 星野 桂

今年度、井荻小学校では「学び合いを支える表現力」について研究をしています。では、「学び合い」とはどういうことをいうのでしょうか。

2年生の国語「ふきのとう」の学習場面でのことです。

『ささやく』って、つぶやくことなの？」

「つぶやくっていうのは一人で言うことだから、ちょっと違うんじゃないかな。」

「竹やぶの竹の葉っぱは、二人で話しているから『つぶやく』じゃないと思うよ。」

「となり同士で、ひそひそお話しているんじゃないかな。」

先生が一方向的に説明をするのではなく、子ども同士の話が行き来しています。友だちの考えを聞き、自分の考えと比べ、自分の思いを伝えていました。このやりとりを聞いていた子どもたちも「ああ、そうか。」と納得の一場面でした。

この写真は5年生の国語「教えてあなたのこと」の一場面です。互いに知りたいことを聞き合い、最後は全体の前で、友だちから聞いたことを伝えました。全体に何を伝えたらよいかを考え、上手に聞き出しています。また、伝える時にも、誰に何を伝えるのかを意識して話しました。



「学ぶ」ではなく「学び合う」というのは一人ではできません。学校では、隣同士・グループ・クラスなど、様々な形態の学習集団があります。こうした集団があるからこそ、子どもたちは良い「学び合い」ができるのです。そのためには、自分の考えをもち自分の立場がわかるといった「主体性」、友だちの考えを真摯に受け入れようとする「共感的受容」、友だちと自分の考えを比べて考える「比較検討する力」を育てていかねばならないと考えます。

また、このような力は小学校だけで育てるのではなく、家庭・中学校とも連携して、小中9年間を通して育てていきたいと思っています。

## 親子で対話、していますか？

さて、ご家庭ではいかがでしょうか。

お子さんとの対話で、親が一方向的に話をし、お子さんが顔を縦に振るか横に振るかになっていませんか。対話というのは言葉のキャッチボールです。お子さんの話をしっかり受け止めて聞いてください。親は、お子さんが最後まで話をしていないのに全て理解したつもりになってしまうことがあります。親子では通じて、他では通じません。互いの話を受けて、更に話が続くといいですね。

また、幼児相手のような言葉だけで会話をしていませんか。お子さんが理解できないからと言って、幼児言葉だけで対話していると語彙が増えません。語彙を増やすには読書も大切なことです。それよりも親が正しい言葉で話すことが一番です。感情の様々な表現を言葉で表現することが苦手なお子さんが少なくありません。心の中の思いを言葉で表現するには語彙が少な過ぎるのです。お子さんと日々対話をする中で、使える言葉を増やしていきましょう。

## すべての子どもたちに泳ぐ楽しさを！



体力向上委員会 大沼 文恵

6月18日（木）から、水泳指導が始まります。「水に顔をつけられる」「息継ぎをすることができる」「力を抜いて泳ぐことができる」の3点をクリアして、卒業までに『楽に長く泳げること』を目標に指導していきたいと考えています。子どもたちは水泳カードの裏面にある呼吸ドリル・水泳進級表に挑戦し、級を伸ばしていきます。子どもたちの頑張りを見ていただき、声をかけていただけると幸いです。

低学年では、顔に水がかかるとを怖がるお子さんもいます。お風呂で頭からしっかりシャワーをかけるなど、生活の中で水に対する不安感を和らげていただけると助かります。

天候等の影響でプールに入れる時間は限られてしまいますので、体調を整えてみんなが授業に参加し、“泳ぐ楽しさ”を味わってほしいと思っています。準備等でお手数をおかけしますが、ご協力よろしくお願い致します。持ち物、準備等は、「水泳指導開始のお知らせとお願い」のお手紙でご確認ください。

## 「定期健康診断を終えて」

養護教諭 中野 眞美

毎年のことですが4月から6月は、定期健康診断の時期です。子どもたちの健康状態をいろいろ検査しました。病気の疑いを見つけ出し、健康な状態で学校生活を送るため、早めに専門医を受診していただくようお知らせ用紙を配布し連絡をしてきました。また、健康診断は子どもたちが、自分自身のからだや成長のを知り、健康・からだ・命の大切さを感じる機会であってほしいと思います。さらにそこから自分のからだを守り育てる力をつけるようになってほしいとの願いもあります。ご家庭においても健康について振り返る機会となりましたか？検診の日などの会話はいかがだったでしょうか？

今回の健康診断をほぼ終え、結果で気になったことは、口腔状態が良好ではなかったことです。歯垢、歯肉炎のチェックを受けた人が目立ちました。

歯ひとつですが、からだ全体、生活リズム全体に関わることです。生活リズム（食べる・寝る・運動する・排便・歯をみがくなど）の大切さはわかっているけれど、続けるためには、毎日の努力と正しい知識も必要です。

子どもたちのからだは敏感で、正直です。ちょっとした生活の崩れや心の痛みが微かな身体症状となって現れてきます。心身共に健康で楽しい毎日が過ごせるよう、まずは歯みがきでも、早寝早起きでもいいので毎日続けられるよう頑張ってみましょう。

保健室でも計測時や来室時を使い、からだの話をたくさんしていきたいと考えています。

# 6月行事予定

1	月	委員会
2	火	内科検診（2・4年）
3	水	川の学習（4年）
4	木	ヤゴ救出大作戦（3年）
5	金	理科出前授業（6年） 菟中3年生来校（学習補助）
6	土	
7	日	
8	月	クラブ 読書旬間始
9	火	安全指導
10	水	
11	木	きょうだい学年集会
12	金	学校公開日
13	土	学校公開日（いのちの教育） 学校方針説明会
14	日	
15	月	避難訓練
16	火	川の学習（3年）
17	水	ふれあいタイム
18	木	音楽鑑賞教室（5年）水泳指導始 移動教室前日検診 B時程
19	金	きょうだい学年集会 読書旬間終
20	土	土曜クラブ（囲碁）
21	日	
22	月	弓ヶ浜移動教室始
23	火	給食体験会
24	水	弓ヶ浜移動教室終 ふれあいタイム
25	木	きょうだい学年集会 自転車安全利用講習会
26	金	菟中生徒会来校・環境サミットの発表
27	土	土曜クラブ（おこと・生け花）
28	日	
29	月	
30	火	いおぎまつり

スクールカウンセラー来校日

常山さん…9日、23日

岩崎さん…4日、11日、18日、25日

## 6月の生活目標

健康・安全に気をつけて過ごそう

生活指導委員会 山口 真

6月は、新しい学年での生活にもだいぶ慣れてきた頃で、気がゆるみ、けがや事故が多いと言われています。生活習慣も乱れやすくなり、さらに、梅雨の時期に入り、むしむしと湿度が高い日が続くため、体の疲れがなかなかとれず、体調を崩しやすくなります。6月は、体も心も疲れやすい時期です。さらに、子どもたちにとっても、外で遊べない日が多くなり、運動不足になります。学校全体では、雨の日の過ごし方を考えて、安全に気をつけて校内での過ごし方、例えば、廊下の歩行や移動の仕方について「これでいいのか」「ここで走ったらどうなる」等、自分で確認したり、予測したりできるようにさせたいと思います。また、このような時期だからこそ、自分の体のことを考える習慣を身に付けさせたいものです。

子どもに規則正しい生活習慣を身に付けてあげることが、子どもにとって一生の宝になると言われています。毎日元気に生活できるよう、ご家庭でも朝食をとる、十分な睡眠をとるなど規則正しい生活が送れるように、ご協力よろしくお願いたします。また、ぜひお子さんと一緒に、どんなことをしたら気分がすっきりするのか考えたり、体も心もリフレッシュできる方法を一緒に実践したりしてみてください。



楽しかった、全校遠足♪

学校公開 6月12日（金）・13日（土）

今年度初めての学校公開です。是非ご参観ください。お越しの際は、入校証・上履き、上履き袋をお持ちください。当日の時間割は、後日配布しますので、ご確認ください。